

ルーミス・グローバル債券ファンド (毎月決算型)

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「ルーミス・グローバル債券ファンド (毎月決算型)」は、2019年1月10日に第143期の決算を行いました。

当ファンドは、日本を除く世界各国の公社債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年7月11日～2019年1月10日

第138期	決算日：2018年8月10日	
第139期	決算日：2018年9月10日	
第140期	決算日：2018年10月10日	
第141期	決算日：2018年11月12日	
第142期	決算日：2018年12月10日	
第143期	決算日：2019年1月10日	
第143期末 (2019年1月10日)	基準価額	5,640円
	純資産総額	2,419百万円
第138期～ 第143期	騰落率	△3.3%
	分配金合計	60円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書 (全体版) を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書 (全体版) は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書 (全体版) は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

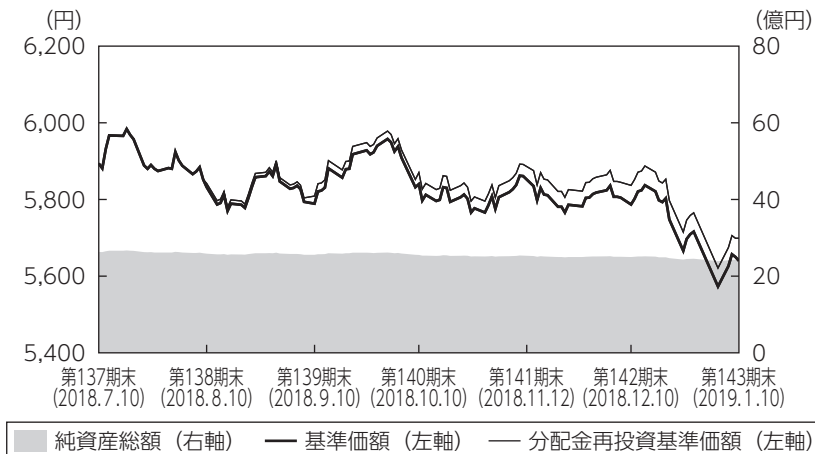
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第138期首： 5,894円
 第143期末： 5,640円
 (既払分配金60円)
 騰落率： $\Delta 3.3\%$
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

「ルミス・グローバル債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、日本を除く世界各国の公社債に投資を行った結果、ユーロや米ドルなどの通貨が対円で下落したことなどから、基準価額は下落しました。

1 万口当たりの費用明細

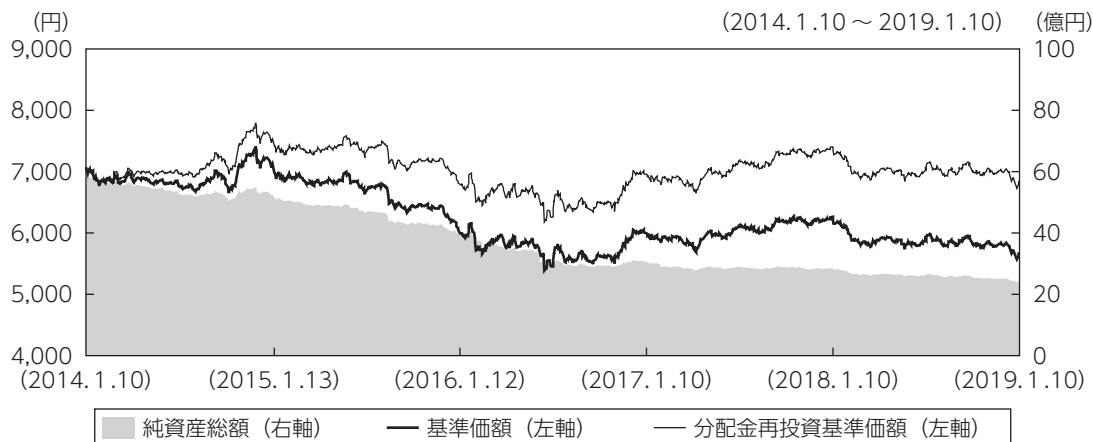
項目	第138期～第143期		項目の概要
	(2018年7月11日 ～2019年1月10日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	48円	0.817%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5,834円です。
(投信会社)	(27)	(0.463)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(19)	(0.327)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(c) 有価証券取引税	－	－	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	1	0.025	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.021)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.002)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合計	49	0.842	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移



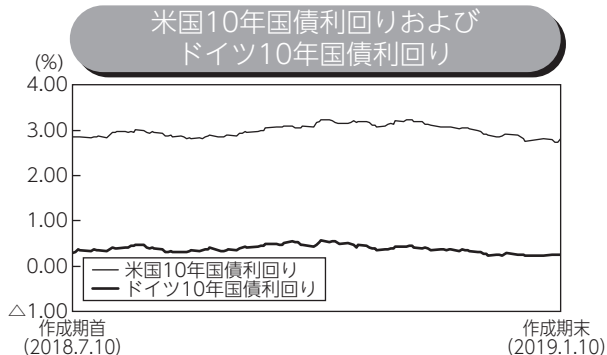
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2014年1月10日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2014年1月10日 期首	2015年1月13日 決算日	2016年1月12日 決算日	2017年1月10日 決算日	2018年1月10日 決算日	2019年1月10日 決算日
基準価額 (分配後)	(円)	7,067	6,985	5,996	5,993	6,194	5,640
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	420	420	145	120	120
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	5.0	△8.5	2.5	5.4	△7.1
参考指数の騰落率	(%)	—	16.3	△4.6	0.3	3.8	△4.9
純資産総額	(百万円)	5,849	5,146	3,928	3,058	2,823	2,419

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はブルームバーグ・パークレイズ・グローバル総合（日本円除く）インデックス（為替ノーヘッジ・円ベース）です。参考指数については後掲の＜当ファンドの参考指数について＞をご参照ください。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。
- (注2) 参考指数は、基準価額への反映を考慮して前営業日の値を用いております。

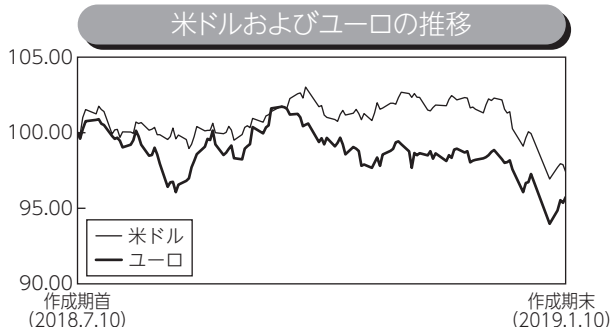
投資環境

● 海外債券市況と為替市場



米国国債市場は、比較的良好な米経済指標の発表などから11月上旬にかけて下落（利回りは上昇）しましたが、その後は原油価格の下落や米中貿易摩擦に対する警戒感の高まりなどから上昇に転じ、作成期を通じて上昇しました。一方で、ドイツ国債市場は、作成期前半は米国国債利回りの上昇に連れ下落しましたが、後半はイタリアの財政問題に対する懸念や、英国の欧州連合（EU）離脱に対する先行き不透明感などから上昇し、作成期を通じてはおおむね横ばいとなりました。投資適格社債市場は、米国が上昇した一方、欧州は下落しました。信用スプレッドは、米国、欧州ともに全般的に拡大し、中でも金融会社セクターの拡大が目立ちました。

先進国の高利回り債市場および新興国の公社債市場は上昇しました。作成期を通じ米国国債利回りが低下したことが上昇要因となりました。



為替市場（対円）は、米ドルやユーロが下落しました。作成期末にかけて、世界的な株安や政府機関一部閉鎖などによる米国の政治動向への不安から、リスク回避姿勢による円買い圧力が強まったことなどが下落要因となりました。ユーロについては、イタリアの財政問題やトルコリラ急落による欧州金融機関への影響が懸念されたことなども下落要因となりました。

(注) 作成期首の値を100として指数化しています。

ポートフォリオについて

●当ファンド

「ルーミス・グローバル債券マザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持しました。なお、実質組入外貨建資産に対して為替ヘッジを行いませんでした。

●ルーミス・グローバル債券マザーファンド

資産配分比率については、先進国の投資適格債を基本配分比率（60%）より高めに維持しました。先進国の高利回り債および新興国の公社債については、基本配分比率（それぞれ20%）より低めを維持しました。

債券の種別配分については、普通社債の組入比率を引き下げた一方、国債の組入比率を引き上げました。格付け別比率は、米国国債の組入を増やしたことに伴いAAA格の組入比率を引き上げた一方、BBB格の組入比率を引き下げました。

修正デュレーションについては、6.4から6.6程度としました。

投資通貨については、米ドル、ユーロを中心としつつ、英ポンド、カナダドル、オーストラリアドルなどへの配分も維持しました。為替ヘッジは行いませんでした。

上記の通り運用を行った結果、基準価額は2.6%下落しました。主な変動要因は以下の通りです。

（主な上昇要因）

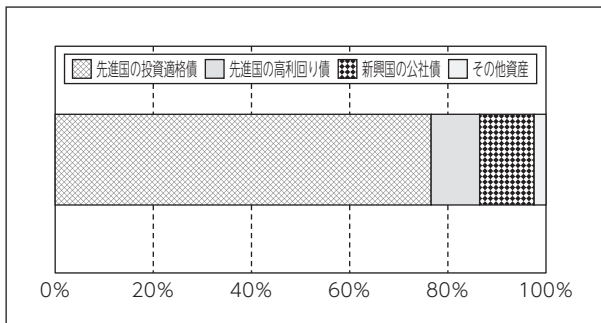
- ・債券投資による利息収入

（主な下落要因）

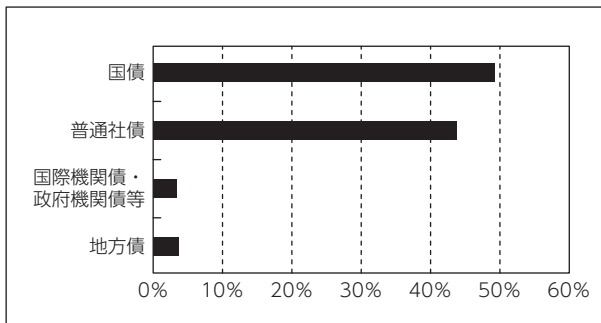
- ・ユーロや米ドルが対円で下落したこと
- ・保有する債券の価格が下落したこと

作成期末

〔資産別配分比率〕



〔種別組入比率〕

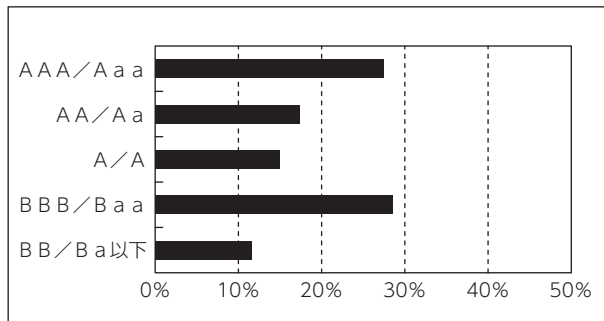


（注1）上記比率は、ルーミス・グローバル債券マザーファンドの純資産総額に対する割合を表示しています。

（注2）その他資産には現金、経過利息等を含みます。

（注）上記比率は、ルーミス・グローバル債券マザーファンドの債券部分を100%換算したものをを用いています。

【格付別比率】

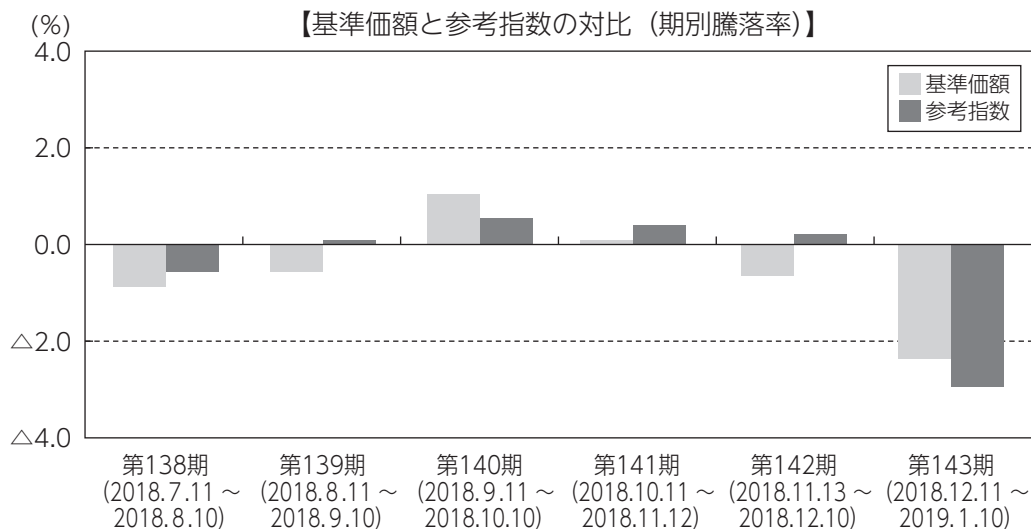


(注1) 上記比率は、ルミス・グローバル債券マザーファンドの債券部分を100%換算したものをしています。

(注2) ファンドの格付は、S & P、Moody'sのうち高い方の格付を採用しています。

■ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額（分配金再投資ベース）と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当作成期の収益分配金は、利息収入相当分を中心とし、基準価額の水準、市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
	2018年7月11日 ~2018年8月10日	2018年8月11日 ~2018年9月10日	2018年9月11日 ~2018年10月10日	2018年10月11日 ~2018年11月12日	2018年11月13日 ~2018年12月10日	2018年12月11日 ~2019年1月10日
当期分配金（税引前）	10円	10円	10円	10円	10円	10円
対基準価額比率	0.171%	0.172%	0.171%	0.171%	0.173%	0.177%
当期の収益	8円	7円	10円	8円	8円	8円
当期の収益以外	1円	2円	-円	1円	1円	1円
翌期繰越分配対象額	213円	211円	215円	214円	212円	210円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

「ルミス・グローバル債券マザーファンド」の組入れを高位に維持します。

●ルミス・グローバル債券マザーファンド

世界経済の見通しについては、米国欧州ともに景気は減速に向かうものの緩やかな成長が継続すると考えます。米国とドイツの国債利回りについては、米政権運営に対する不透明感が高まる中、その動向に左右される場面も予想されますが、中長期的には緩やかに上昇するとみています。債券種別分配については、相対的に利回り水準が高い社債に投資妙味があると考えます。

このような中、当ファンドは、ファンダメンタルズ分析の下、流動性に留意しつつ、割安な銘柄への投資機会を探っていきます。

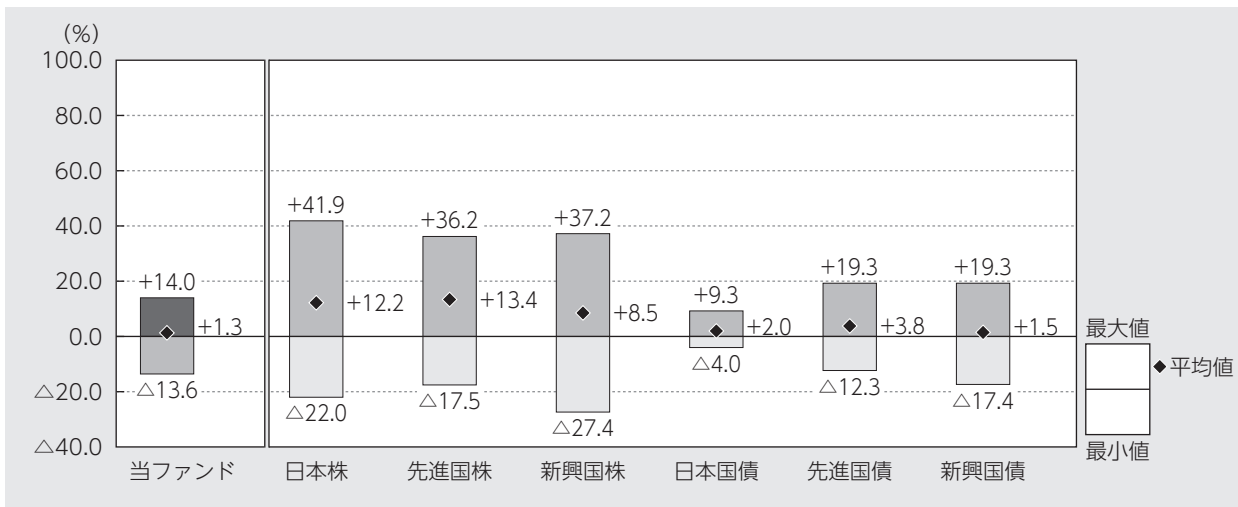
資産配分については、「先進国の投資適格債」の組入比率を基本配分比率（60%）よりも高めで維持する方針です。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2007年1月31日から無期限です。 なお、クローズド期間はありません。	
運用方針	日本を除く世界各国の公社債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	ルーミス・グローバル債券ファンド（毎月決算型）	ルーミス・グローバル債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ルーミス・グローバル債券マザーファンド	日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	<p>ファンド全体の加重平均格付けは、BBB格相当以上に維持することを基本とします。公社債の組入比率は、高位を保つことを基本とします。</p> <p>先進国の投資適格債60%、先進国の高利回り債20%、新興国の公社債20%を基本配分比率とします。</p> <p>外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>ルーミス・グローバル債券マザーファンドにおける円の余資運用以外の運用の指図に関する権限を、ルーミス・セイレス・アンド・カンパニー・エル・ピーに委託します。</p>	
分配方針	<p>第3期以降、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。以下同じ。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、原則として利息収入相当分を中心とし、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>なお、売買益等については、原則として毎年5月および11月の決算時に分配を行うことを目指します。ただし、分配対象額が少額の場合ならびに委託会社が基準価額の水準、市況動向を勘案したうえで、分配を見送る場合があります。</p>	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用しています。（ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金をまとめてペビエーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資することにより、その実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。）

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年1月～2018年12月

(注1) 上記のグラフは2014年1月から2018年12月の5年間における1年騰落率（毎月末時点における期間1年間の騰落率を5年（60ヵ月）分取得したデータ）の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。（グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。）なお、上記騰落率は直近の月末から60ヵ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額をもとに計算していますので、基準価額をもとに計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2019年1月10日現在）

◆組入ファンド等

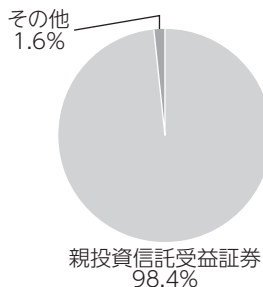
（組入ファンド数：1ファンド）

	第143期末
	2019年1月10日
ルーミス・グローバル債券マザーファンド	98.4%

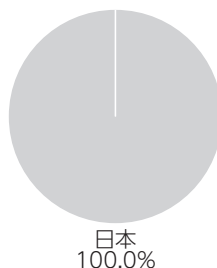
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

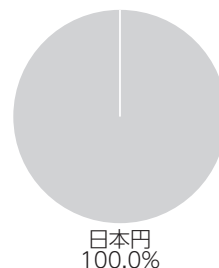
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計（除く現金）に対する割合です。

（注2）その他は100%と配分比率の合計との差になります。

純資産等

項目	第138期末	第139期末	第140期末	第141期末	第142期末	第143期末
	2018年8月10日	2018年9月10日	2018年10月10日	2018年11月12日	2018年12月10日	2019年1月10日
純資産総額	2,586,327,238円	2,555,762,100円	2,553,005,164円	2,524,169,235円	2,497,720,857円	2,419,390,311円
受益権総口数	4,435,057,646口	4,414,818,535口	4,371,894,588口	4,325,781,399口	4,316,460,816口	4,289,939,798口
1万口当たり基準価額	5,832円	5,789円	5,840円	5,835円	5,787円	5,640円

（注）当作成期間（第138期～第143期）における追加設定元本額は5,168,346円、同解約元本額は178,986,944円です。

組入ファンドの概要

【ルーミス・グローバル債券マザーファンド】（計算期間 2018年7月11日～2019年1月10日）

◆基準価額の推移



◆1万口当たりの費用明細

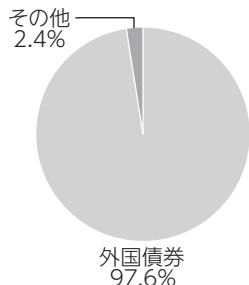
項目	(2018年7月11日～2019年1月10日)	
	金額(円)	比率(%)
平均基準価額	13,684	—
(a) その他費用 (保管費用)	3 (3)	0.024 (0.022)
(その他)	(0)	(0.002)
合計	3	0.024

◆組入上位銘柄

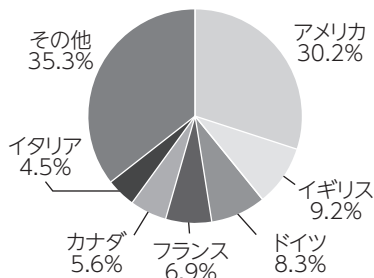
(組入銘柄数：162銘柄)

順位	銘柄	種別	通貨	利率	償還日	比率
1	GERMANY	国債	ユーロ	3.50%	2019/07/04	4.4%
2	ITALY	国債	ユーロ	9.00%	2023/11/01	3.1%
3	FRANCE	国債	ユーロ	4.25%	2023/10/25	3.1%
4	UNITED STATES	国債	米ドル	2.25%	2020/03/31	2.3%
5	UNITED STATES TREASURY INFLATION INDEXED BONDS	国債	米ドル	0.125%	2022/04/15	2.1%
6	UNITED STATES	国債	米ドル	5.00%	2037/05/15	2.0%
7	INDONESIA	国債	インドネシアルピア	8.25%	2021/07/15	1.7%
8	UNITED KINGDOM	国債	英ポンド	5.00%	2025/03/07	1.7%
9	COLOMBIAN TES	国債	コロンビアペソ	7.50%	2026/08/26	1.5%
10	UNITED KINGDOM	国債	英ポンド	3.25%	2044/01/22	1.5%

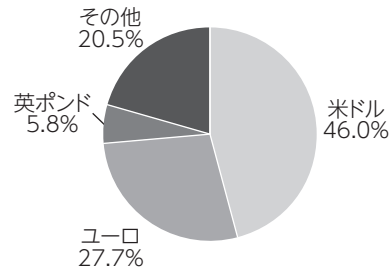
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は当マザーファンドの直近の計算期間末のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細は当マザーファンドの直近の決算期のものであります。費用の項目の概要については2頁をご参照ください。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計（除く現金）に対する割合です。

(注4) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

<当ファンドの参考指数について>

●ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合（日本円除く）インデックス（為替ノーヘッジ・円ベース）

ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

